

創立百周年記念 第3回QUウォーク開催



平成23年11月3日(木)、大濠公園を出発し、伊都キャンパス体育館まで歩く九州大学創立百周年記念・第3回QUウォーク(主催:健康科学センタ―、百周年事業推進室)が開催されました。

「九州大学百周年記念QUウォーク、頑張るぞ」の掛け声とともに大濠公園能楽堂前を8時過ぎに出発した



休憩地点の小戸公園にて



完歩して記念品を受け取る参加者の方々

207名の参加者は、もちろし浜、小戸公園、長垂海浜公園を経由して、21km先のゴールである伊都キャンパスを目指しました。

12時前から14時頃までにゴールした完歩者には記念のFinisherタオルや協賛企業からの記念品が配布されました。

このイベントは、ウォーキングを通して、運動や健康の重要性を実感することや、参加いただいた地域住民の方々と大学関係者との交流を図ることを目的に、九州大学創立百周年記念のイベントとして開催されたものです。

次回、第4回となる来年度は5月13日(日)に天神中央公園をスタート地点として開催します。ゴールとなる伊都キャンパスでは、九大100年まつりが開催されておりお楽しみいただけます。多数の参加をお待ちしています。

創立百周年記念 京都賞シンポジウムを開催



平成23年11月15日(火)、伊都キャンパスの稲盛財団記念館稲盛ホールで九州大学創立百周年記念京都賞シンポジウムが開催されました。

京都賞は、科学や文明の発展、また人類の精神的深化・高揚に著しく貢献した方々の功績を讃える国際賞ですが、今回、第27回(2011年)京都賞受賞者のジョン・ワナー・カーン博士(米国立標準技術研究所名誉上級研究員、ワシントン大学客員教授)を迎えて、福岡での初の京都賞シンポジウム開催となりました。

「ものづくりの科学と探究する心―新しい合金への道―」と題したシンポジウムには、福岡県内の高校生をはじめ約420人が参加しました。主催者を代表し、落合英俊理事の挨拶、厳佐庸高等研究院院長によるカーン博士の紹介の後、カーン博士の記念講演が行われました。

カーン博士は、科学者としてのご自身のこれまでのキャリアやご専門の材料工学について講演されました

が、高校生に対し「皆さんには、まず自ら学ぶことを学んでほしい。そして、これからの人生で、たとえ躓いたとしても、そのことは次の成功への機会を得たことであり、是非自分の持っている知識を信じて問題に立ち向かってほしい」とメッセージを送り、講演を締めくくりました。

その後、カーン博士は、伊都キャンパスを視察され、水素材料先端科学研究センター(HYDROGENIUS)では、村上敬宜教授から水素の研究について説明を受けられ、その後、超高压電子顕微鏡棟に移動し、松村晶教授の案内により施設を視察されました。



講演会でのカーン博士